



「なみだ」はなくなることはないの

なみだはいつも出ています

なみだを、つくったり出したりする、^{るいせん}涙腺がはたらいているかぎり、なみだはなくなりません。

^{るいせん}涙腺は ^{りょうめ}両目の上の ^{うえ}外側にあり、^{こゆび}小指の ^{あたま}頭くらいの ^{おお}大きさです。

なみだは、^な泣いたり、^め目に ^{はい}ゴミが入ったりしたときだけでなく、いつも ^{すこ}少しずつ ^で出ていて、^め目がかわくの ^をふせいだり、^{かくまく}角膜という、^め目のいちばん ^{そとがわ}外側にある ^{えいようぶん}まくに、^{えいようぶん}栄養分を ^あたえたり、^め目に入った ^{はい}ごみや ^あほこりを、^{あら}洗いなが ^{なが}流したりしています。

なみだは、^{たいせつ}大切な ^め目を守るために、^{じゅうよう}重要な ^ははたらきをしているのです。

わたしたちは、^し知らない ^ああいだに ^ままばたきをして ^いいますが、^めこれも、^め目をいつも ^ななみだ ^でぬらしておくために、^{しぜん}自然にしていることなのです。

赤ちゃんが、泣いても、なみだを出さないのは

^う生まれたばかりの ^{あか}赤ちゃんには、^ななみだをつくったり出したりする ^{るいせん}涙腺が、^{まだ}まだ、^は発達していません。そのため、^{あか}赤ちゃんが、^{なが}なみだを流して ^な泣きはじめるのは、^う生まれてから、^{はんとし}半年くらい ^たたってです。しかし、^め目を守るための ^ななみだは ^で出ています。(監修・保志 宏)

